## **The Principal Report**

# 校長通信(4月号)

April/24/2024/ VOL 020

## 世界の『セサミストリート』から学ぶ多様性

「多様性」という言葉をいろいろなシーンで耳にするようになりました。今や、多様性に富んだ社会のあり方が、 求められる時代となり、ビジネスシーンに至っては、多様な人材を登用し、「違うこと」でより豊かなアイディアや 価値が生まれるというふうに考えられています。

そもそも「多様性」って何なんでしょう?オックスフォード英語辞典によると、多様性(diversity)は「互いに 非常に異なる人や物の集まり」と定義されています。自然界を例にとって考えると、さまざまな生物が存在してい ることを「生物多様性」と表現されますよね。一方で、我々が生活する社会にとっての多様性とは、民族的な多様 性、性別、宗教、価値観など、さまざまな視点で語られます。どちらかというと、これまでマイノリティ(少数派) とされてきた方々について、社会的に認め受け入れていくという文脈で使われることが多いと思います。

さて、その多様性にも実は2種類存在し、表層的多様性と深層的多様性があります。表層的な多様性とは、性別、人種、国籍、年齢、身体的な障がい等の、生まれ持った特徴で変えることができない、比較的わかりやすい特徴のことを指します。一方で、価値観、宗教、経験、嗜好、言語、受けてきた教育といった内面的な特徴を、深層的な価値観と言います。このように多様性にも2面があるということを、前提として押さえておくことが大切です。

こうした多様性を、ようやく日本社会も重要視するようになり、多様性をいかに受け入れ、よりインクルーシブ(包括的:みんながまるっと含まれるような)社会を作れるかが認知されるようになりました。実は、50年以上も前から、その多様性の大切さを、社会的な課題と捉え、世界に向けて発信してきたTV番組があります。それが、今回のテーマである『セサミストリート』です。『セサミストリート』といえば、エルモ、クッキーモンスター、ビッグバードといったカラフルなキャラクターでお馴染みの、アメリカの子供向け番組です。テレビ放送は1969年にアメリカで開始され、50年以上もの間、150以上の国と地域で放送されているご長寿番組。

その『セサミストリート』が大切にしていることとして、多様性に富んだ、さまざまな人種が交わり合うような、カラフルな世界観があります。当時のアメリカ社会は非常に不安定で、人種差別、経済格差、移民問題などが社会問題となっていました。そういった家庭の子供たちは、家の外を歩けば暴言や暴力の対象となり、家から出られず一日中引きこもっている状況もあったといいます。そんな子供たちが家でテレビを見ながら、メディアを通して、よりよい教育を受け、多様性を身につけていくことが社会課題を解決する鍵となると考え、『セサミストリート』が放送されていたと言います。

また、『セサミストリート』が大切にしているもう一つのこととして、子供たちが互いに持つ「素晴らしさ」を見つけて尊重できるようになるということです。人は自分と違うこと、周囲と違っていることに対し、必要以上に指摘したり、時に仲間はずれにしたり、排除しようとする傾向があります。またマイノリティの方々の表層的、あるいは深層的な「違い」を、「できない」「変」と捉えがちです。それが差別や、社会的弱者を生み出す根本的な原因となっています。できないことばかりに目を向けるのではなく、できているところや、そもそもその人がその人であることの素晴らしさを認め、受け入れることのほうがよっぽど素敵です。

御殿場西高校では、「居場所と出番を創り続ける学校」を目指し、一人ひとりがありのままの姿でいられる学校を目指しています。そのためには、まず、ありのあままの自分を自分自身が認めてあげることが大切だと思っています。それができて初めて、他者のありのままを受け入れ、違いを歓迎し、多様性のある学校をみんなが作り上げていくことができます。決して難しいことではありません。とことんお互いの素晴らしさを認め合う学校にあるという、シンプルなことだと思います。そのために今、学校の中で障壁となってしまうことについては、なるべく見直していく必要があると思います。それも、先生主導ではなく、生徒のみんなと一緒にやっていきたいと思います。そんな当たり前の学校を、みんなと一緒に作っていきたいと思います。始業式、入学式で伝えたことをもう一度。

- Enjoy making mistakes. 失敗を楽しもう。
- ・Enjoy differences and diversity. 違いと多様性を楽しもう。
- Enjoy creating our school. 学校づくりを楽しもう。

#### 入学式&始業式&新任式

嵐のような天候の中で、第58回入学式が行われました。今年は270名の新入生を迎え、御殿場西高校もますます楽しい学校になっていきそうだと感じます。式の最中の1年生たちの表情もとても素晴らしく、とっても爽やかで晴れやかでした(天候とは真逆)。これからの3年間、みんなの成長を近くで見られることを幸せに思いますし、教員の特権だなぁとつくづく思います。みなさん、これからよろしくお願いします!

さて、今年度も新たな先生方をお迎えしてスタートしております、御殿場で高校。強烈なキャラの持ち主がたくさんいらっしゃるので、面白い学校を目指す本校にとっては大変心強く楽しみな面々です。生徒たちも始業式での教職員の紹介はとっても盛り上がってくれてとてもいい感じでしたよね。紹介する先生方一人一人に拍手を送ってくれるなど、とてもハートフルな学校だと感じました。こんなふうに拍手で思いを伝える雰囲気を学校全体で大切にしていきたいですね!



### 探究学習「マイクエスト」スタート

さてさて、本校の新しいビジョン「居場所と出番を創り続ける学校」の出番づくりの柱となる「マイクエスト」がいよいよスタートとなりました。オープニングでは3年生による、昨年度までの探究学習の成果発表と、先生方の「好き/得意」発表が行われ、会場は大盛況でした。生徒の発表はキラキラしていたな~。そして先生方の発表はツッコミどころ満載でおもしろかったな~。共通して言えるのは、「好き/得意」が持つ力は、受験学力やテストの点数の力の何倍も素敵であるということと、無限の可能性があるんだと改めて感じたということです。御殿場西高校では「好き/得意」を「ギフト」と呼んでいます。誰もが持っている、その人だけのキラキラしたもの。御殿場西高校ではそのギフトを発掘し、発揮し、磨き続けていきます。そして、それが生徒たちがこれからの未来を切り開く、最高の武器になっていくことを心から期待しています。







#### 保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうござい ます。今年度もよろしくお願いいたします。

御殿場西高校では「居場所と出番を創り続ける学校」という新たなビジョンを掲げ、これまでの教育活動のあり方を見直し、新しい教育の形を実践しようとしています。生徒一人一人がありのままの姿でいられる学校、生徒一人ひとりの「好き/得意」を発掘し、発揮し、磨き続ける学校。これまでの本校が前年踏襲で行っていたもの、当たり前としていたことをゼロベースで見直していきたいと思っています。年度途中での変更等もいくつか出ていくこととなるかもしれません。その際には、保護者の皆様に私たちの考え、これからの未来で必要とされる考え方や、生きる力といったことをしっかりと説明させていただきます。そして、保護者の皆様と共に、生徒一人ひとりをサポートする教職員、学校チームでありたいと思います。

